



## まずは秋田を知る事から

[秋田市観光クチコミ大使]

大和証券(株)広島支店 支店長

つし み たけ ひこ  
都志見 武彦氏

今年2月の小正月に、久しぶりに秋田の地を訪れました。出発日は東京では珍しく雪がちらついており、既に雪国気分を味わいながらも、心躍る気持ちで引き寄せられるように秋田にたどり着きました。今回の目的は「上松木内の紙風船上げ」「刈和野の大綱引き」を見に行くことでした。

秋田のお祭りやイベントは、ほぼ参加し見学しましたが、この2つに関しては、私が赴任中の実施が平日であったことから、見るができなくてずっと心残りでした。秋田を離れて2年が経ち、ようやく見学する機会に恵まれたのです。巨大な紙風船には、色鮮やかに美人画や願い事などが描かれており、凍えるような真冬の空に次々と舞い上がる風景は、とても幻想的で見ごたえのあるものでした。また、自身で小さな紙風船に願い事などを書き打ち上げることもでき、打ち上げた紙風船が雪の降る空に高く舞い上がり夜空に吸い込まれていく様子は本当に天に願い事が届いているように思えてきました。「刈和野の大綱引き」も最初は見学するつもりで行きましたが、声をかけていただき綱引きに参加することができました。今までに見たことのない程の大規模な綱引きで、皆さんの情熱や、一丸となって力を合わせる様子に感動いたしました。

秋田では、平成25年から丸3年間、妻と幼稚園児の子供の3人でお世話になりました。私も妻も生まれは関東で東北には縁もなかったことから、不安や緊張を抱えての赴任でありましたが、実際に住んでみると、どこよりも住みやすい街であったと思っています。見知らぬ土地で始めは戸惑っていた妻ですが、外を歩けばご老人が、自然に子供に笑いかけ、話しかけてくれる。サークルなどのようなコミュニティでは、団結力があり、温かみがあり、家族のように皆で皆の子を育てるという意識が強い。都会ではすたれつつある「地域の人と人とのつながりによって、子供を育てる」風習が残っていて安心感があると言って、すぐに溶け込んでいきました。本当に皆さんの人柄がよいので、県外の間人も生活しやすいのだと思っています。

また、家族で毎週のように週末は「秋田を知る旅」

に出掛け、夢中になり、気づけばガイドブックはくたびれていました。特に、私が魅了されていったのは、「秋田県民歌」の歌詞にもあるような自然の雄大さであります。

ところが、東京ではその秋田の魅力が十分に伝わっていないと感じています。大量情報化の現代では、いくら情報を発信していても、受け手が情報を選別してしまい、その結果伝わらないという事象が往々に現れます。地方の名産としてメジャー化・ブランド化された食べ物やお祭り・イベントに関しては、より簡単に手に入れたり参加できるようになることから益々盛り上がっていくことが想定される反面、良いものであっても注目されないと盛り上がり欠けてしまう2極化がますます現代は顕著になってきていると感じます。

秋田の魅力をPRしていくための議論は今でも十分にされていると思いますが、個人的には、地元の間が地元の魅力をあまり理解していない事にも起因しているのではないかと感じています。県内のお祭りや温泉には興味が薄く、「ディズニーランド」「USJ」などに高い経費をかけて行っている若者が多くいる現実には、非常に残念に思います。県内外問わず、見て、食べて、飲んで、遊んで、秋田を体感する事が一度でもできれば、秋田の魅力は伝わるものだと感じています。

2月に秋田に訪問した際に当時の同僚達とカラオケで最後に歌ったのは、もちろんロータリーで特訓した「秋田県民歌」であります。皆さんに、私がこの目で見た秋田の素晴らしさを知って欲しい、心からそう思います。一秋田ファンとして、これからも応援していきたいです。

### ■略歴

昭和48年 東京都生まれ  
平成7年 早稲田大学理工学部 卒業  
平成7年 大和証券株式会社 入社  
平成25年 同社 秋田支店長  
平成28年 同社 ラップコンサルティング部長  
平成31年 同社 広島支店長